

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月5日		記入者		連絡先	2737
平成18年度部名	経済部		課名	農林課	課長名	宮崎孝司
平成19年度部名	経済部		課名	農林課	課長名	小峰幸夫
事務事業名	有害鳥獣駆除対策事業					
予算上の事務事業名	有害鳥獣駆除対策事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	31510	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第5節 都市農業の振興					
施策名	第1施策 安定した農業経営の確立					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律・特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律・相模原市農作物鳥獣害防護対策事業補助金交付要綱・有害鳥獣駆除対策事業補助金交付要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	対策			5 事業開始年度	平成8年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
農作物を鳥獣から守るため、銃器による駆除等を実施し、農作物の安定生産を図る。				農業者		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
有害鳥獣駆除対策事業 実施内容(旧相模原市域) ・相模原市みどり組合連絡協議会が実施する有害鳥獣の駆除に対して補助金を支出(主に鳥類が対象) ・実施時期 8月から10月まで 実施内容(旧津久井郡域) ・各町の鳥獣等被害対策協議会が実施する有害鳥獣の駆除に対して補助金を支出(主にサル・シカ・イノシシが対象) ・実施時期 通年 防護柵設置事業 実施内容(全市域)						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	有害鳥獣駆除対策事業(イノシシ・鳥類等シカ・サル以外が対象) 県内各市町村で実施 特定鳥獣駆除対策事業(シカ・サルが対象) ・サル 小田原市、秦野市、厚木市等県内13市町村					
8 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	560	936	936	22,676	22,676	
一般財源	260	236	236	11,107	11,107	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	300	700	700	11,569	11,569	
人件費の合計	230	230	558	3,450	3,450	
事業コスト合計	790	1,166	1,494	26,126	26,126	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	有害鳥獣駆除対策事業(旧相模原市域)			対象名称 と単位	捕獲数	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	560	936	936	936	936	
対象数	2,417	2,194	2,566	2,500	2,500	
単位あたり経費(円)	232	427	365	374	374	
前年度比		1.84	0.86	1.03	1.00	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	捕獲数	指標式と指標の説明		捕獲数/目標数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	2,417.0	2,194.0	2,566.0		
目標	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0
目標達成度(%)	96.7	87.8	102.6		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	農作物被害件数の減少率	指標式と指標の説明		100 - (当該年度の被害件数 ÷ 前年度の被害件数) × 100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	-	16.7		
目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
目標達成度(%)	0.0	#VALUE!	166.6		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		本事業の実施により農作物被害件数は少ない状態を維持できており、農作物の安定生産に寄与している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
近年増加しつつあるイノシシ等鳥類以外の鳥獣害にも対応するため、捕獲檻の設置等も合わせて実施する。			現在、旧市内における農作物被害は出ていないが、イノシシ等一部の鳥獣については旧市域へ侵入してくることが大いに予想される。捕獲檻の購入等、今後はこうした鳥獣への対策も実施する必要がある。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			